



取りまとめた復興計画(案)を町長に報告する鈴木会長

## 復興計画の策定を報告

計画策定委員会の鈴木会長が町長へ

町の復興計画策定を進めていた町復興計画策定委員会の鈴木桂樹<sup>すずき けいじゅ</sup>会長が12月9日、同委員会として最終的に取りまとめた計画(案)を町長に報告しました。

これを受け、12月12日に開催された町震災復興本部において、「益城町復興計画」として決定されました。さらには、12月開催の第4回町議会定例会での審議の結果、承認され確定となりました。

これをもとに、町では今後、復興に向けた取り組みを推進していきます。

## 風船に新しい年への希望をのせて

児童館でクリスマスイベント

12月17日、町児童館で「クリスマスの集い」が開催されました。

職員による「3匹のこぶた」の劇やじゃんけん大会などがあり、158人の親子が参加しました。最後には、参加者全員でそれぞれにメッセージを書いたカードをつけた風船を飛ばしました。きれいな青空の中、高く昇っていく風船に、子どもたちはいつまでも手を振っていました。児童館では、11月から「おひさまひろば」が始まり、毎日子どもたちの元気な声が響いています。



掛け声に合わせて一斉に風船を放つ親子



力士たちにサインや握手を求める人たち

## 力士たちによる力強い支援

テクノ仮設団地に日本相撲協会から慰問

大相撲冬巡業で九州各地を訪れている幕内の力士たちが12月12日、テクノ仮設団地を慰問しました。

慰問に訪れたのは、玉ノ井親方(元大関栃東)をはじめ大関豪栄道、関脇高安ほか12人。会場のみんなの家でサイン会が始まると、長蛇の列を作っていた大相撲ファンらが力士に声をかけたり、握手を求めたりしていました。同仮設住宅に入居する今村文子<sup>いまむらあみ</sup>さんは、「テレビでしか見られない力士に生で会うことができ、とてもありがたい」と感激していました。



Pickup Plus  
今月のプラス+

12月1日、宇土市出身で大相撲時津風部屋の正代関が町長室を訪れ、「町民のために使ってほしい」と、義援金のほか熊本巡業の招待券などを贈りました。正代関は、11月場所で11勝4敗の好成績を上げ、今後の活躍が期待されています。